

# 葛飾区子ども・子育て支援 ニーズ調査報告書

- 子育て支援施設の利用希望等に関する調査 -

令和元年（2019年）8月

葛 飾 区

# 目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	1
5. 報告書を利用するにあたって	2
第2章 調査結果	3
1. 子どもの基本属性について	3
2. 子どもと家族の状況について	5
3. 子育てに関する人のつながりについて	9
4. 保護者のはたらき方について	21
5. 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について	30
6. 教育・保育の無償化の実施後における利用希望について	46
7. 地域の子育て支援事業の利用状況等について	48
8. 平日夜間（20時以降）や土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業等の利用希望について	56
9. 子どもの病気の際の対応について	59
10. 不定期の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	65
11. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	72
12. 職場の両立支援制度について	78
13. 子育て支援施策に関する満足度について	87
第3章 資料	100
1. 調査票	100

---

---

# 第1章 調査概要

---

---

## 1. 調査目的

葛飾区では、子育ての環境をこれまで以上に充実するために「葛飾区子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度～平成31年度）を策定し、本区の子どもたちの健やかな育成のために様々な取組みをすすめてきました。この調査は計画の期間満了に伴い、現状や将来想定される課題等を反映した「第二期葛飾区子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、新計画策定の基礎資料とさせていただくための子育てに関する状況やニーズを把握するために実施しました。

## 2. 調査設計

【調査対象】子ども（5歳以下）を持つ保護者

【抽出方法】無作為抽出

【調査方法】郵送配布、郵送回収

【調査期間】平成30年12月14日（金）～平成31年1月10日（木）

## 3. 調査項目

項目
1 子どもの基本属性について
2 子どもと家族の状況について
3 子育てに関する人のつながりについて
4 保護者のはたらき方について
5 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について
6 教育・保育の無償化の実施後における利用希望について
7 地域の子育て支援事業の利用状況等について
8 平日夜間（20時以降）や土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業等の利用希望について
9 子どもの病気の際の対応について
10 不定期の教育・保育事業等や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について
12 職場の両立支援制度について
13 子育て支援施策に関する満足度について

## 4. 回収結果

【配布数】6,000件

【回収数】3,307件

【回収率】55.1%

## 5. 報告書を利用するにあたって

---

- 図・表中のn、回答者数とは、基数となる実数のことである。
- 回答はn、回答者数を 100%として百分率で算出してある。小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の「—」は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 回答者数が極端に少ない場合は、分析対象から外している場合がある。
- 無回答や「その他」の回答が多い場合は、分析対象から外している場合がある。

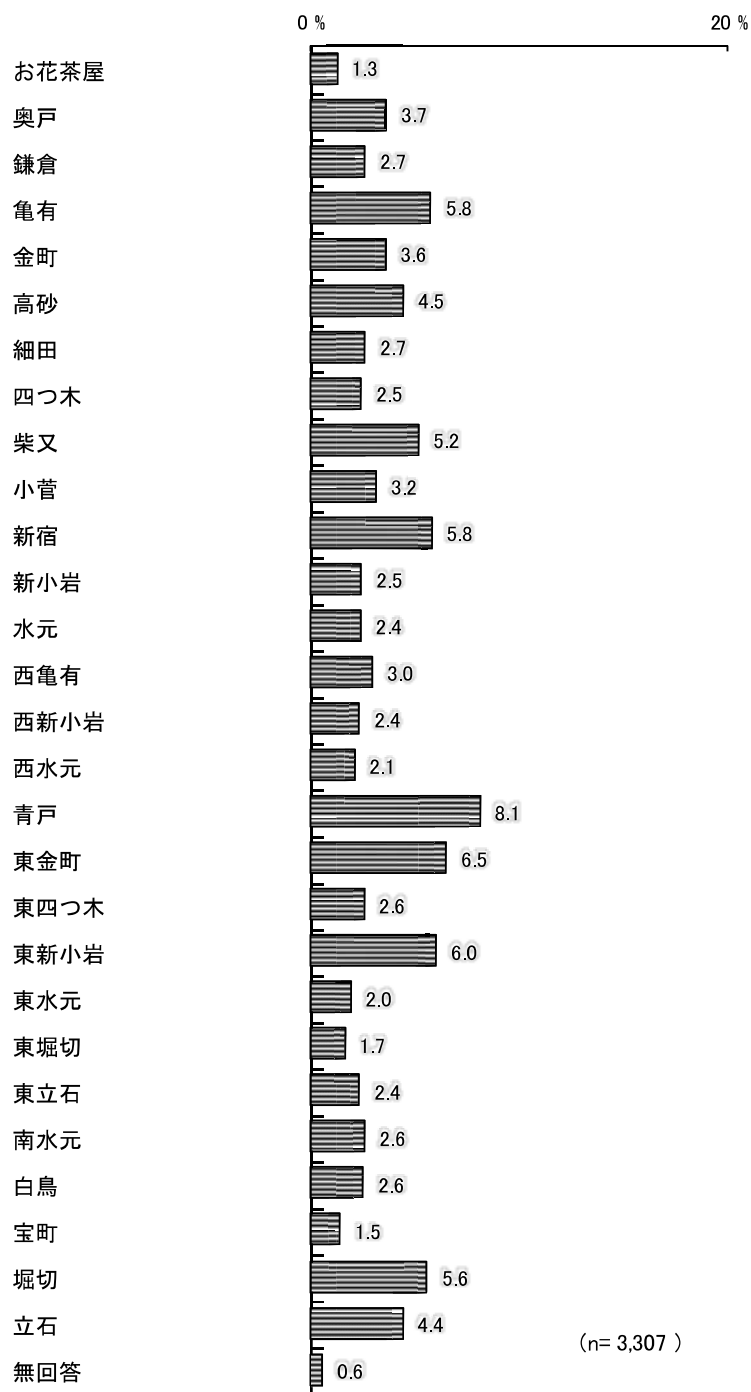
## 第2章 調査結果

### 1. 子どもの基本属性について

#### (1) お住まいの地域

問1 お住まいの地域をお答えください。

「青戸」が最も多く8.1%、次いで「東金町」が6.5%、「東新小岩」が6.0%となっています。



## (2) 住まいの形態

問2 お住まいについて、お答えください。(1つに〇)

「持ち家(戸建て)」が最も多く36.3%、次いで「持ち家(マンション等の集合住宅)」が27.6%、「借家(戸建て、マンション、アパートの民間住宅)」が25.9%となっています。



### 【年齢別】

年齢別にみると、0歳、1歳は「借家(戸建て、マンション、アパートの民間住宅)」、2歳～5歳は「持ち家(戸建て)」が最も多くなっています。

	回答者数	持ち家(戸建て)	持ち家(マンション等の集合住宅)	借家(戸建て、マンション、アパートの民間住宅)	借家(社宅、寮、公務員住宅等)	借家(公営住宅、UR賃貸住宅)	その他	無回答	
全体	3,307	36.3	27.6	25.9	3.7	4.4	0.5	1.5	
年齢	0歳	549	24.6	24.0	38.1	6.0	6.0	0.5	0.7
	1歳	532	32.0	26.7	32.3	3.8	3.6	0.6	1.1
	2歳	558	36.6	27.4	26.0	3.4	5.0	0.4	1.3
	3歳	548	36.5	31.2	21.5	3.1	4.9	0.5	2.2
	4歳	564	44.3	26.8	21.1	2.3	3.9	0.4	1.2
	5歳	499	45.3	29.7	16.4	4.0	2.8	0.4	1.4

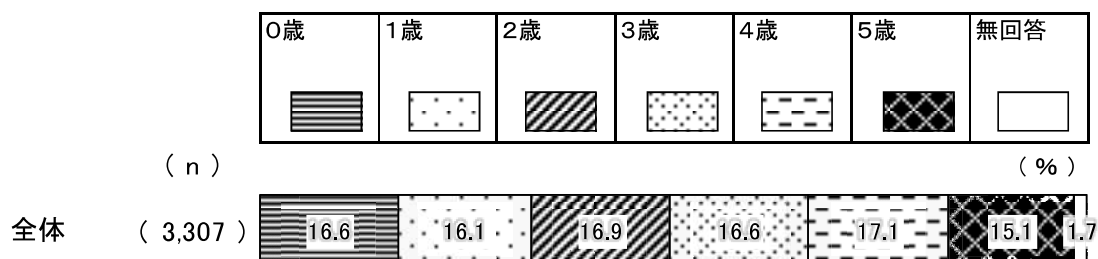
○ 表中の年齢ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。

## 2. 子どもと家族の状況について

### (1) 子どもの年齢

問3 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

「4歳」が最も多く17.1%、次いで「2歳」が16.9%、「0歳」と「3歳」が16.6%となっています。

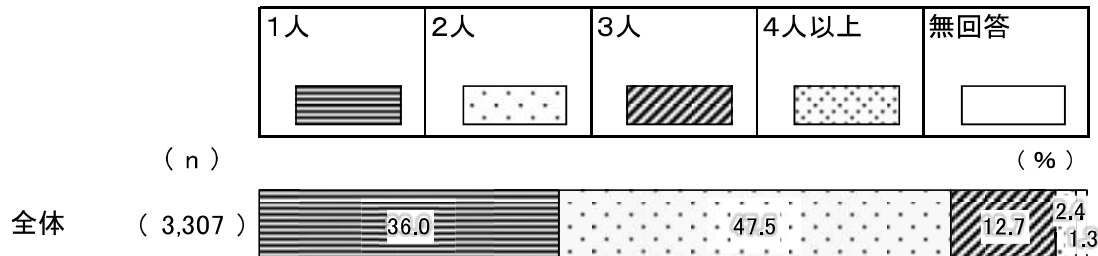


### (2) 兄弟・姉妹の数、末子の年齢

問4 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。(1つに○) また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

#### 【きょうだい数】

「2人」が最も多く47.5%、次いで「1人」が36.0%、「3人」が12.7%となっています。



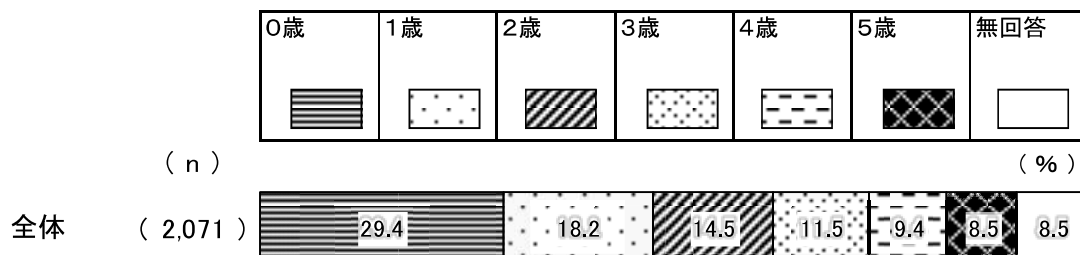
#### 【経年比較】

前回調査と比べて、「1人」が多くなっています。

	回答者数	1人	2人	3人	4人以上	無回答
今回	3,307	36.0	47.5	12.7	2.4	1.3
前回(H25)	3,618	28.1	47.1	18.9	4.2	1.8

#### 【末子の年齢】

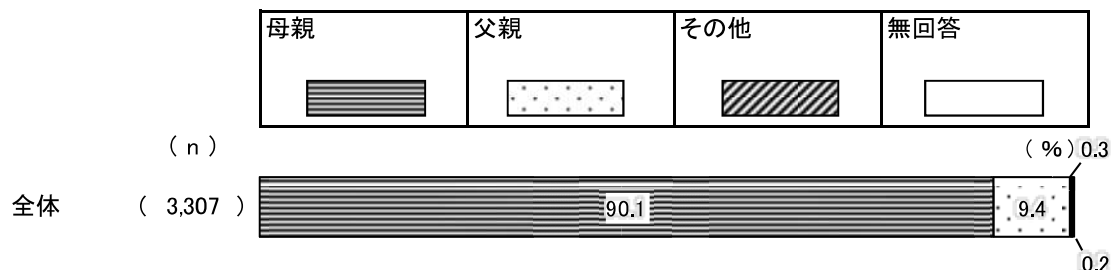
「0歳」が最も多く29.4%、次いで「1歳」が18.2%、「2歳」が14.5%となっています。



### (3) 調査票の回答者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

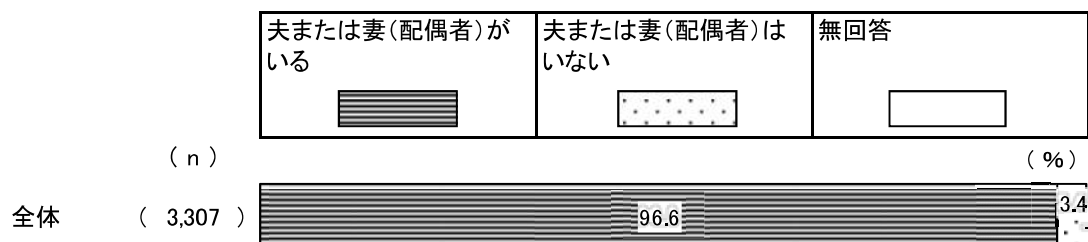
「母親」が90.1%、「父親」が9.4%となっています。



### (4) 調査票の回答者の配偶関係

問6 この調査票にご回答いただいている方についてお答えください。(1つに○)

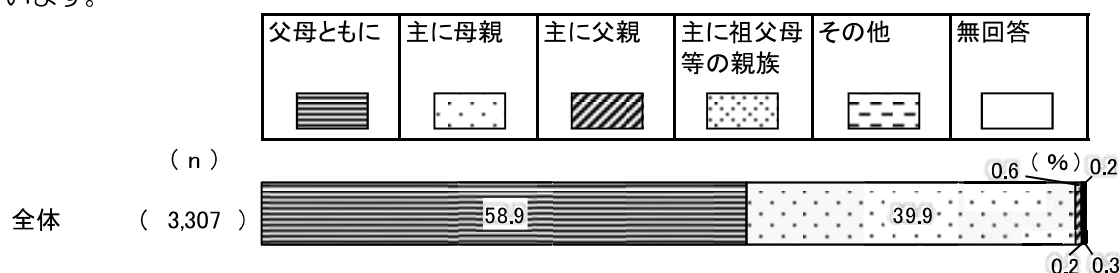
「夫または妻(配偶者)がいる」が96.6%、「夫または妻(配偶者)はいない」が3.4%となっています。



### (5) 子育て(教育を含む)を行っている人

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

「父母ともに」が最も多く58.9%、次いで「主に母親」が39.9%、「主に父親」が0.6%となっています。



### 【経年比較】

前回調査と比べて、「父母ともに」が多くなり、「主に母親」が少なくなっています。

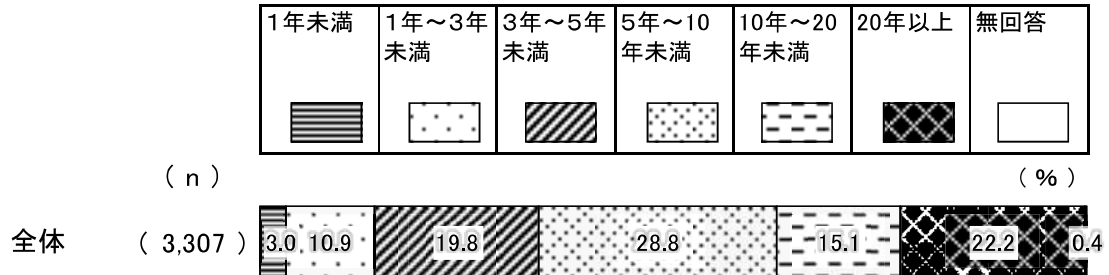
	回答者数	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母等の親族	その他	無回答
今回	3,307	58.9	39.9	0.6	0.2	0.2	0.3
前回(H25)	3,618	45.1	52.8	0.4	0.7	0.3	0.7



【(6) 子育て（教育を含む）を行っている人の居住年数】

問8 問7で回答された方は、葛飾区に何年お住まいですか。（1つに〇）

「5年～10年未満」が最も多く28.8%、次いで「20年以上」が22.2%、「3年～5年未満」が19.8%となっています。



【年齢別】

0歳は「1年～3年未満」、1歳は「3年～5年未満」、2歳～5歳は「5年～10年未満」が最も多くなっています。

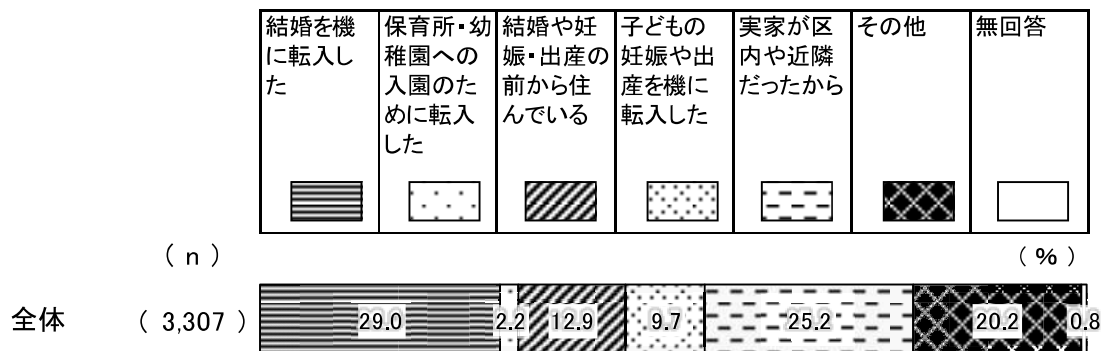
	回答者数	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	無回答	
全体	3,307	3.0	10.9	19.8	28.8	15.1	22.2	0.4	
年齢	0歳	549	5.6	25.1	24.4	17.9	8.6	18.4	—
	1歳	532	4.3	15.4	27.4	26.7	7.0	19.0	0.2
	2歳	558	2.2	10.8	23.5	28.0	13.6	21.9	0.2
	3歳	548	2.9	6.2	21.4	32.3	14.6	22.4	0.2
	4歳	564	1.4	4.4	12.4	32.8	21.5	27.5	—
	5歳	499	1.2	3.4	9.4	36.7	25.3	23.6	0.4

○ 表中の年齢ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。

【(7) 子育て（教育を含む）を行っている人の居住のきっかけ】

問8-1 問7で回答された方が、葛飾区に住むことになったきっかけは何ですか。（1つに〇）

「結婚を機に転入した」が最も多く29.0%、次いで「実家が区内や近隣だったから」が25.2%、「結婚や妊娠・出産の前から住んでいる」が12.9%となっています。



【年齢別・居住地域別】

年齢別にみると、0歳～3歳は「結婚を機に転入した」、4歳～5歳は「実家が区内や近隣だったから」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、東部地域、西部地域、南部地域は「結婚を機に転入した」、北部地域は「実家が区内や近隣だったから」が最も多くなっています。

	回答者数	結婚を機に転入した	保育所・幼稚園への入園のために転入した	結婚や妊娠・出産の前から住んでいる	子どもの妊娠や出産を機に転入した	実家が区内や近隣だったから	その他	無回答	
全体	3,307	29.0	2.2	12.9	9.7	25.2	20.2	0.8	
年齢	0歳	549	31.5	1.8	15.1	9.8	22.2	18.9	0.5
	1歳	532	32.7	1.9	12.6	10.5	20.9	21.2	0.2
	2歳	558	29.4	2.3	12.0	8.6	24.4	22.6	0.7
	3歳	548	27.4	2.2	12.6	11.3	25.9	20.1	0.5
	4歳	564	25.7	2.7	14.0	8.9	28.2	19.5	1.1
	5歳	499	28.1	2.4	11.6	9.6	28.9	18.6	0.8
地域	東部地域	702	29.6	2.1	13.4	8.5	29.1	16.8	0.4
	西部地域	1,118	29.2	1.9	12.3	9.9	23.1	22.9	0.7
	南部地域	855	30.6	2.6	12.6	10.4	23.4	19.5	0.8
	北部地域	608	26.0	2.3	13.7	9.4	27.6	20.6	0.5

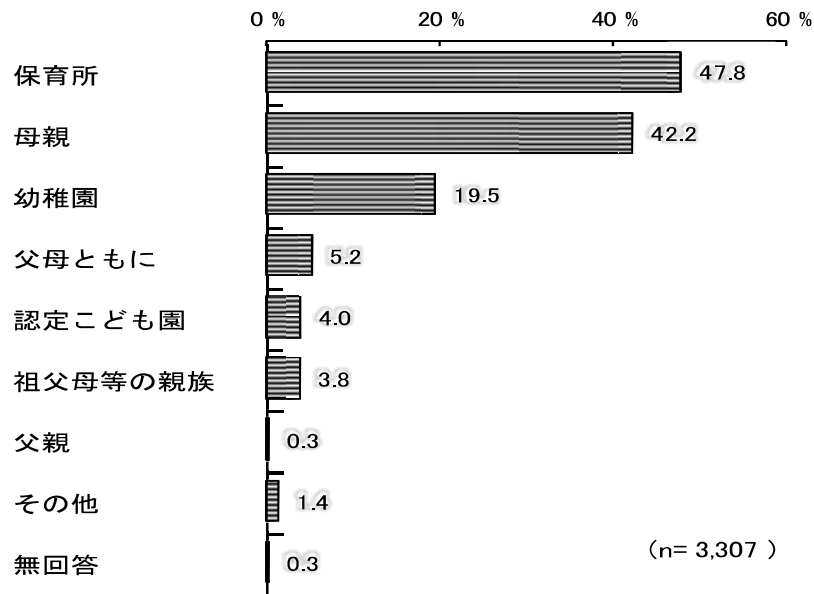
- 表中の年齢ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。
- 表中の地域ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。

### 3. 子育てに関する人のつながりについて

#### (1) 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人や施設

問9 あて名のお子さんの平日（日中）の子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなた（どの施設）ですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

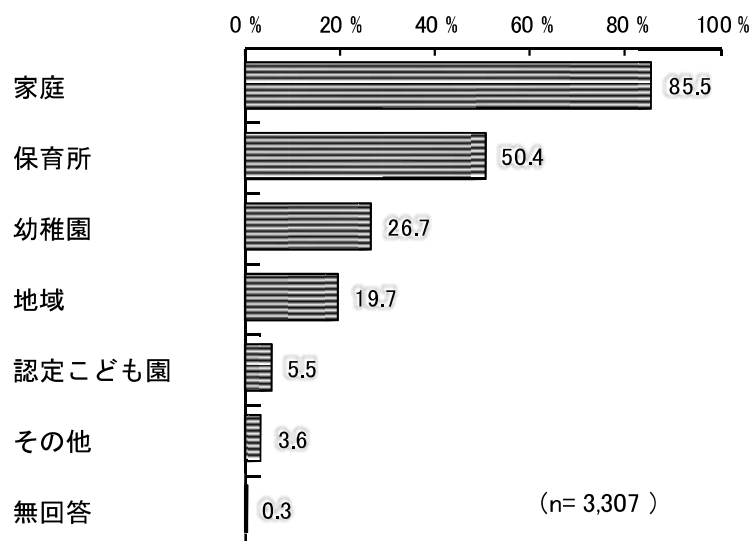
「保育所」が最も多く47.8%、次いで「母親」が42.2%、「幼稚園」が19.5%となっています。



#### (2) 子育てに強く影響すると思われる環境

問10 あて名のお子さんの子育てに、強く影響があると思われる環境はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

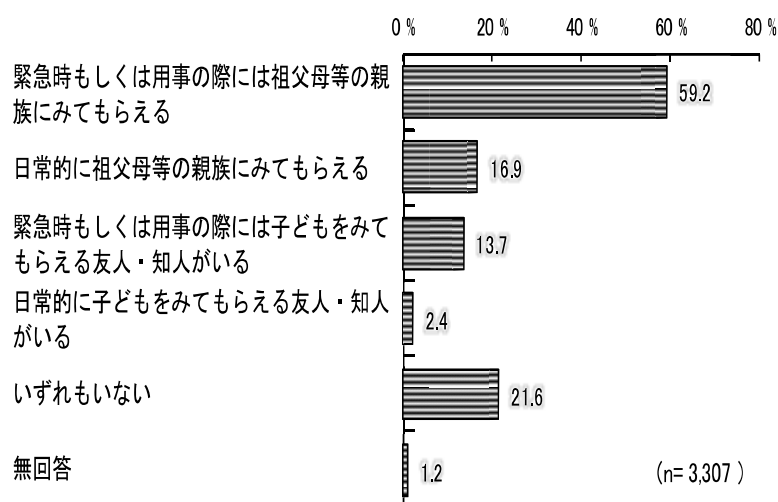
「家庭」が最も多く85.5%、次いで「保育所」が50.4%、「幼稚園」が26.7%となっています。



### (3) 子どもをみてもらえる親族、友人・知人の有無

問11 あて名のお子さんを日頃みてもらえる祖父母等の親族や友人・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多く 59.2%、次いで「いずれもない」が 21.6%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 16.9%となっています。



#### 【経年比較】

前回調査と比べて、「いずれもない」が多くなっています。

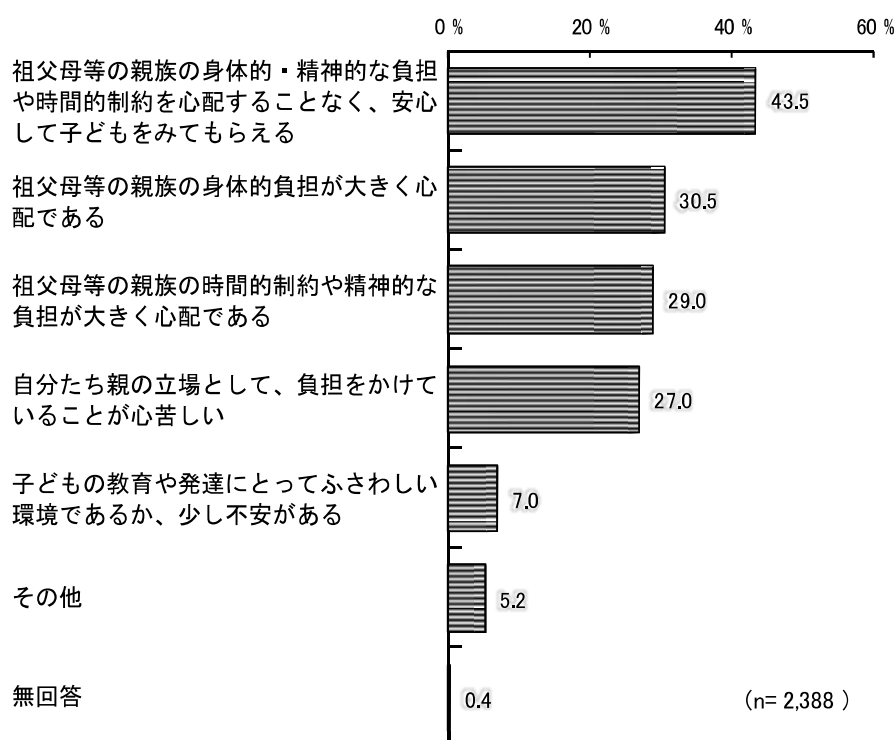
	回答者数	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
今回	3,307	16.9	59.2	2.4	13.7	21.6	1.2
前回(H25)	3,618	22.2	60.0	2.8	19.6	15.1	2.2

#### (4) 子どもをみてもらっている親族の負担等

◆問 11-1 は、問 11 で、「1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」とお答えの方にうかがいます

問11-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く 43.5%、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 30.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 29.0%となっています。

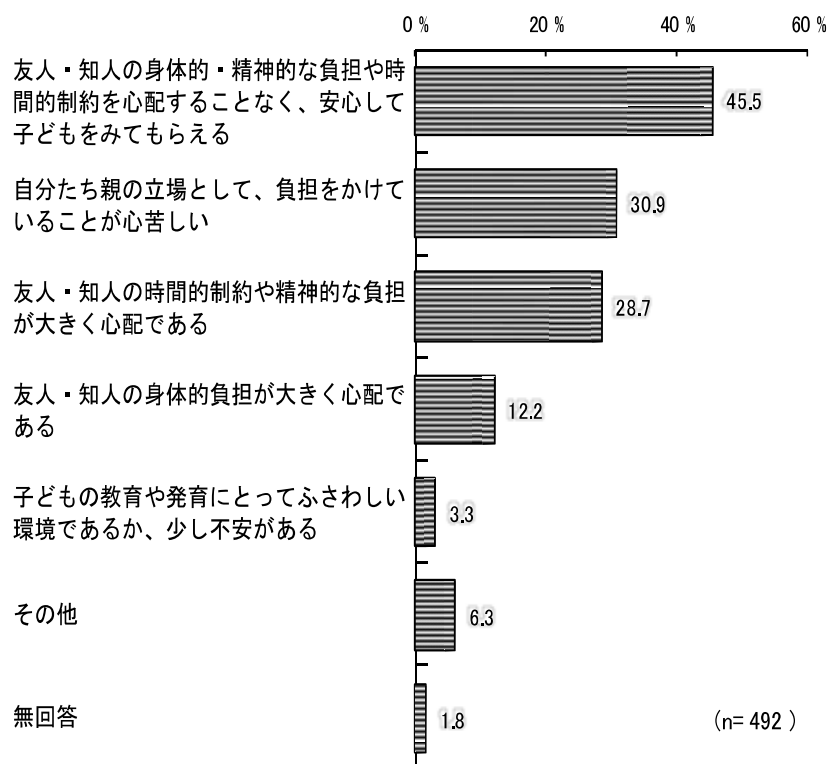


### (5) 子どもをみてもらっている友人・知人の負担等

◆問 11-2 は、問 11 で、「3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」とお答えの方にかがいます

問11-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

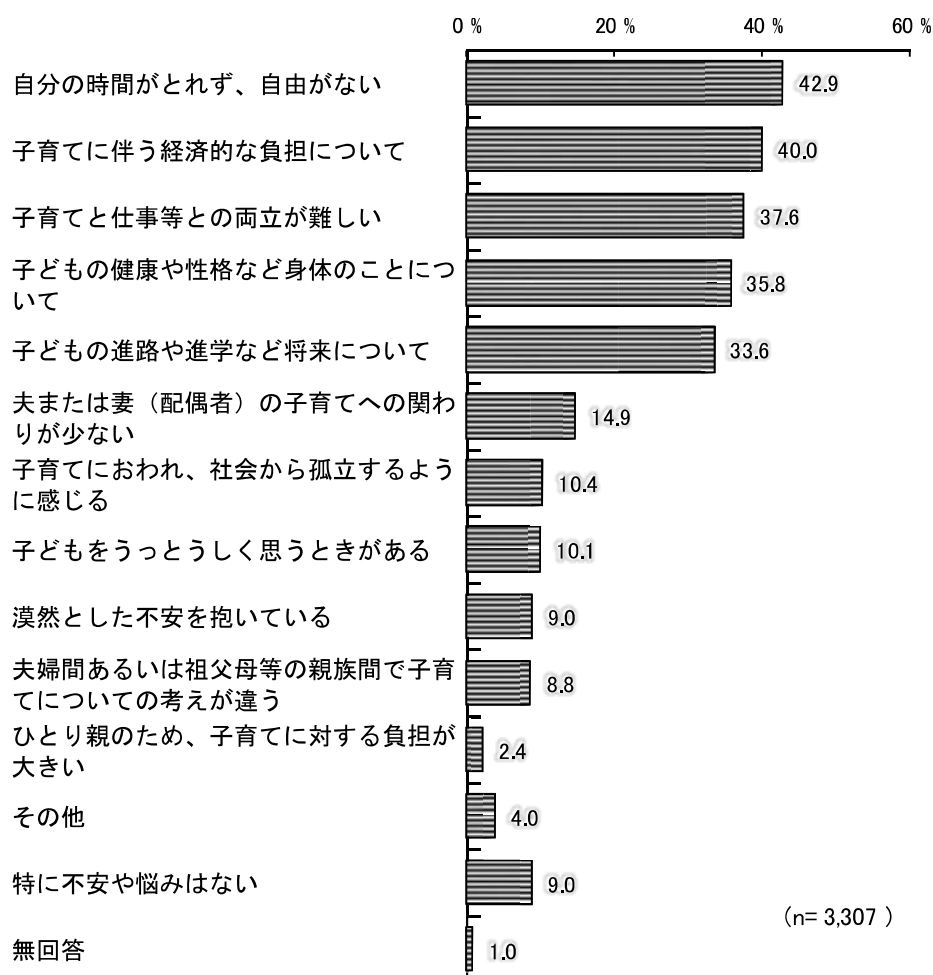
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多く 45.5%、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 30.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 28.7%となっています。



## (6) 不安や悩みの有無

問12 子育てをする上で、どのような不安や悩みを抱えていますか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の時間がとれず、自由がない」が最も多く 42.9%、次いで「子育てに伴う経済的な負担について」が 40.0%、「子育てと仕事等との両立が難しい」が 37.6%となっています。



【年齢別、居住地域別】

年齢別にみると、0歳～3歳は「自分の時間がとれず、自由がない」、4歳～5歳は「子育てに伴う経済的な負担について」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、東部地域、西部地域、南部地域は「自分の時間がとれず、自由がない」、北部地域は「子育てに伴う経済的な負担について」が最も多くなっています。

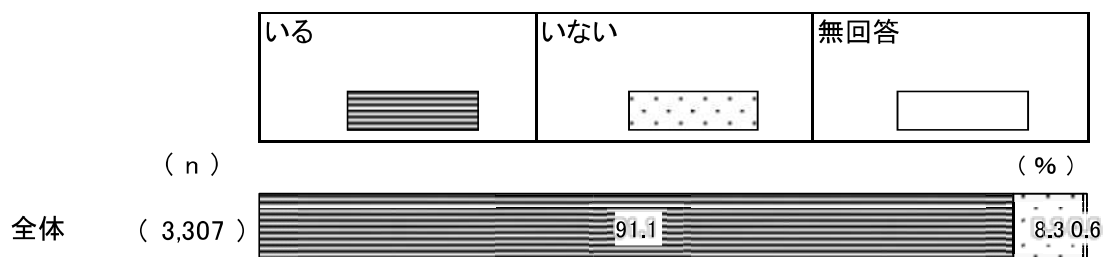
	回答者数	自分の時間がとれず、自由がない	子育てにおわれ、社会から孤立するよ うに感じる	子育てと仕事等との両立が難しい	ひとり親のため、子育てに対する負担 が大きい	夫または妻(配偶者)の子育てへの関わ りが少ない	夫または妻(配偶者)の子育てへの関わ りが少ない	子どもの健康や性格など身体のことにつ いて	子どもの進路や進学など将来について	子育てに伴う経済的な負担について	子どもをうつつしく思うときがある	漠然とした不安を抱いている	その他	特に不安や悩みはない	無回答	
全体	3,307	42.9	10.4	37.6	2.4	8.8	14.9	35.8	33.6	40.0	10.1	9.0	4.0	9.0	1.0	
年齢	0歳	549	49.5	18.0	39.0	1.6	6.2	16.2	38.1	28.1	40.4	9.8	13.3	5.1	5.8	0.7
	1歳	532	45.3	10.0	38.5	2.3	9.4	13.0	36.3	29.9	41.7	9.6	10.2	4.5	7.5	1.1
	2歳	558	48.7	10.6	37.1	2.2	7.9	13.4	33.3	31.5	37.6	11.8	9.0	4.8	9.5	1.6
	3歳	548	42.9	10.6	40.7	3.6	10.4	16.1	36.1	35.8	40.9	12.6	6.8	3.3	9.3	0.7
	4歳	564	36.7	7.6	38.1	2.3	9.8	15.1	36.5	37.1	39.7	8.0	7.1	3.0	10.6	1.2
	5歳	499	34.1	6.2	32.9	2.4	9.6	14.6	34.5	38.9	40.5	9.2	6.8	3.2	10.6	0.6
地域	東部地域	702	44.9	11.4	38.5	2.4	7.7	17.0	33.2	29.8	40.3	9.7	10.3	4.7	7.5	0.9
	西部地域	1,118	41.8	10.7	37.1	2.0	8.9	13.7	37.5	34.9	40.9	10.0	8.6	3.9	9.8	1.0
	南部地域	855	42.6	10.6	36.7	3.0	9.8	15.6	34.6	32.2	36.3	11.0	9.1	4.0	9.6	0.8
	北部地域	608	42.4	8.9	38.8	2.1	8.7	13.3	37.3	37.5	44.1	9.5	7.6	3.1	8.2	1.6

- 表中の年齢ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。
- 表中の地域ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。

(7) 気軽に相談できる人の有無

問13 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。(1つに○)

「いる」が91.1%、「いない」が8.3%となっています。

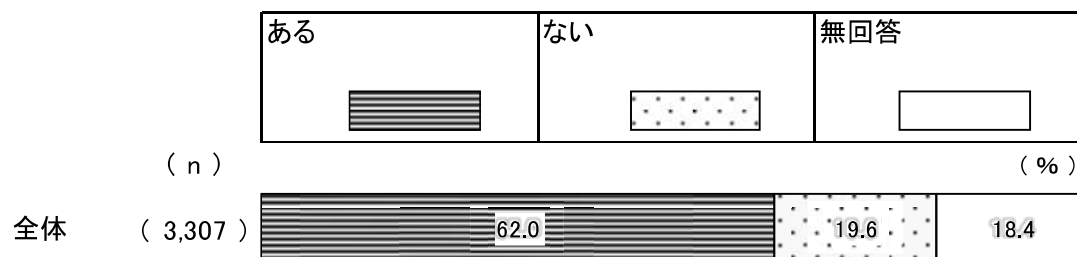




### (8) 気軽に相談できる場所の有無

問13-1 子育てをする上で、相談できる場所がありますか。(1つに○)

「ある」が62.0%、「ない」が19.6%となっています。

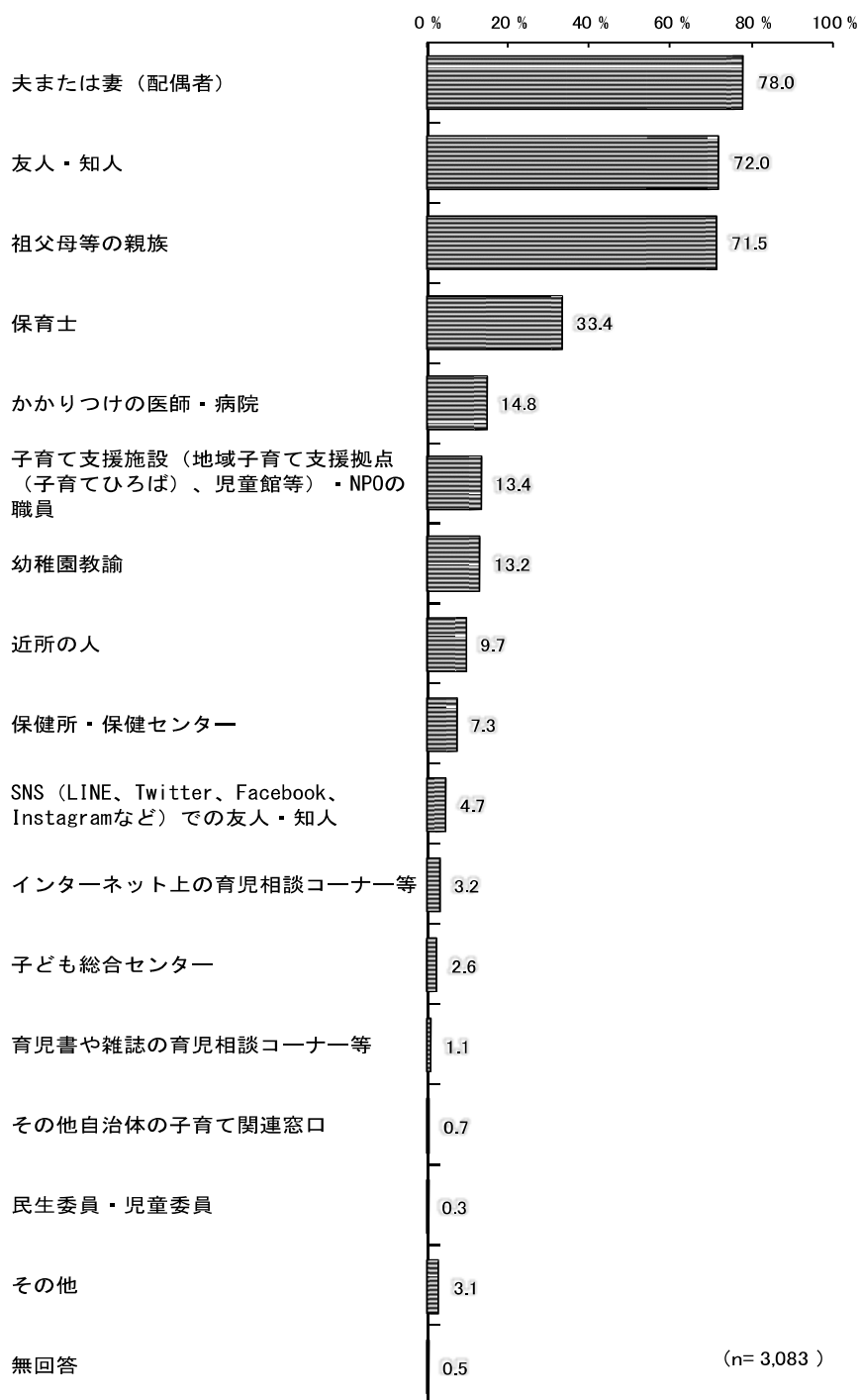


### (9) 気軽に相談できる人や機関

◆問 13-2 は、問 13 もしくは問 13-1 で「1 いる／ある」とお答えの方にかがいます

問13-2 子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「夫または妻（配偶者）」が最も多く 78.0%、次いで「友人・知人」が 72.0%、「祖父母等の親族」が 71.5%となっています。



## 【経年比較】

前回調査と比べて、「子育て支援施設（地域子育て支援拠点（子育てひろば）、児童館等）・NPOの職員」「保育士」が多くなっています。

	回答者数	夫または妻（配偶者）	祖父母等の親族	友人・知人	近所の人	子育て支援施設・NPOの職員	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師・病院	子ども総合センター	その他自治体の子育て関連窓口	育児書や雑誌の育児相談コーナー等	インターネット上の育児相談コーナー等	SNSでの友人・知人	その他	無回答
今回	3,083	78.0	71.5	72.0	9.7	13.4	7.3	33.4	13.2	0.3	14.8	2.6	0.7	1.1	3.2	4.7	3.1	0.5
前回 (H25)	3,367	-	74.5	82.3	11.0	9.9	7.4	30.5	15.2	0.1	14.8	1.8	0.2	-	-	-	2.7	0.1

## (10) 子育てをする上で必要なサポート

問14 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

1,268名の意見が寄せられました。主なものを掲載します。

### 【利用者支援事業について】

- 家の近くに児童館があって児童館で子供も遊んで、親も子供とのかかわり合い方について相談できると良い。
- 今までのサポートでもよいので、サポートする人の知識を（保健師や児童館スタッフなど）もっと向上させてほしい。何か質問しても“うーんどうだろう…”と曖昧なことしか答えてくれないので、相談する意味がない。
- 児童館にはよく行きますが、遊びや、ストレス発散の場としては良いのですが、子育ての相談という面ではほとんどサポートがないと思います。定期的に子育て相談の場をもうけてくれたり、子育て経験者の相談員がいてくれたらと思います。

### 【学童保育クラブ事業について】

- 長女が来年小4になりますが、学童に入れませんでした。入りたい人は入れる様な体制になって欲しいです。
- 小学校の学童で、預けたい日だけ申し込めるように、一時保育のようなサービスが欲しい。

- 学童の職員の方々がかなり若い方が多いので、もう少し子育て経験のある方達がいらっしゃると相談する内容も広がるかと思うことがある。
- 学童の値段をもう少し下げてほしい。他の区は4,000円台のところもある。おやつは持参でかまわないので…。

#### 【子育て短期支援事業について】

- 育児疲れや虐待要件以外でも使いやすい形でショートステイなどがあると良い。

#### 【地域子育て支援拠点事業について】

- 児童館や地域の子育てひろば（幼稚園・保育所）など、子ども連れでゆったりと過ごせる場所や機会をありがたく利用させていただいています。家庭の中で子ども達とずっといるとどうしても息が詰まってしまう事もありますが、そういった施設で大人と話をできる事がリフレッシュになっています。なに気ない話が出来ただけで嬉しいです。
- 現在とても子育てをする上で助かっているのは子育てひろば「りぼん」です。こちらに顔を出すようになってからママ友が沢山でき、子育ての悩みや相談事などを話せてとても子育てが楽しくなりました。
- 子育てひろばにいる保育士さんと顔見知りになると、親子共々孤立感が軽減する。第一子をもつ親（特に母親）に対してこういった場所があることをもっとアピールしてもよいと思う。

#### 【一時預かり事業について】

- どの保育園・幼稚園にも一時預かりがあると遠い所まで（目的地と逆方向）行かずにすむのに…預かり代金ももっと安いと、頼みやすい。
- 一時保育の充実を願います。0歳児はほぼ預かってくれるところがなく、あっても月1の予約の電話が数分でいっぱいになり、全く使用できません。病院にも簡単に行くことができません。
- 現在、平日は家庭で子育てしているが、急な用事やちょっとした外出、自分の体調不良時に近所の保育園の一時保育を利用したいと思っても、予約は一ヶ月前で既に埋まっていて利用出来ない事が多い。  
かと言ってフルタイムで共働きで保育園に入れる様な生活は、家庭の余裕が確実に無くなると思うので無理。もっと一時保育を利用し易くして、アルバイトやパートができる様になって欲しい。
- 預かり保育をしてくれる施設がもっと増えて欲しい。施設があっても常に予約がいっぱいでなかなか利用できない。小さい子がいると日常的な買い物もむずかしい時があるので、スーパーに行く短時間だけでも見てくれる施設があればと思います。

- 一時保育（認可保育園の）もハードルが高く（慣らし保育や予約など）で実用的ではないです。気軽に少し預けられる場所、サービスがあったら安心する。
- 朝の早い時間も対応してくれるとありがたいです。

#### 【病児・病後児保育事業について】

- 病気の子供を預けて仕事に行くのは本当に心苦しいのですが、どうしても利用しなければならない時、病児保育室は予約がなかなか取れません。病院との連携などすぐにたくさんの施設を作れないと思いますもう少し増えると良いなと思います。
- 病気の時、特にインフルエンザ流行時は病児保育の予約が取れないので、もっと数を増やして欲しい。
- 仕事を休むのが本当に嫌なので病気の時預けられる所がもっとあればうれしいです。本当は休みたいし子供の側にもっといてあげたいのですが…。
- 病児保育、病後児保育が利用しづらい。熱が下がったけどまだ保育園に行かせづらい時、病院の診断をもらって病後児保育事業所に連絡するという手間が利用のハードルを上げている。
- 保育園は病気になったら見てもらえず病児、病後児保育は定員数などから、お願いしてもなかなか厳しいのが現状です。友人・知人をお願いしたくても、病児はその子の子どもにうつるのでは…と心配でお願いしづらいです。近くに頼れる祖父母がいないため、病気になってしまうと自営業のためとても困ります。区の方で、公認のベビーシッター、病児シッターなどがあればとてもありがたいです。
- 共働きで、近くに親戚などの頼れる人もいないので、子供が病気や発熱で保育園に預けられなくて困る時が多々ある。病児保育も利用しているが当日利用ができなかったり、延長保育もなく、お金もかかるので、もっと利用しやすくなれば良いなと思っています。

#### 【子育て援助活動支援事業について】

- 安く家事や子育てをサポートしてもらえるところがあるといい。ファミリーサポートがあると聞いたが、なかなかマッチングしないと聞いた。
- ファミリーサポートのサポーターがもっと増えて、気軽に利用できるようになって欲しい。
- ファミリーサポートも登録だけしたが、ニーズがマッチしないので利用した事がない。
- ファミリーサポートのサポーターが見つかりにくい。難しいサポート、ボランティアと思いますが、改善をお願いしたいです。
- ファミリーサポートなどネット等で空き状況等の確認ができ、スポット的に利用できると良いと思う。

- ・以前ファミリー・サポート・センターを利用したいと思いましたが、地域に登録されているサポーターさんがいませんでした。サポート側も知らない方も多いかと思うので、ファミリー・サポート・センターをもっと周知していただけるといいなと思いました。

#### 【乳児家庭全戸訪問事業について】

- ・子供が生まれてすぐの時、助産師さんの訪問により、話を聞いてもらうことで気持ちが楽になりました。ぜひ今後も継続していただきたい事業だと思います。
- ・自宅訪問（専門的知識と子育て経験がある方のみ）が一番良いと思います。最初の子を産んだとき、自宅訪問でお子さんをお持ちの助産婦さんが来て色々な話がリラックスしてできました。話をするだけで気が楽になる。それだけで救われることは沢山あると思います。
- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業がありますが、これらと同様に幼稚園や小学校へ入学する際など節目節目で訪問事業があると良いなと思います。
- ・妊婦訪問や新生児訪問があるようにイヤイヤ期の2・3才や自我などがめばえ意見を言うようになる、5・6才など少し大きくなってからもその時の不安や悩みがあると思うので訪問形式があれば嬉しい。  
自ら相談センターなどに行くのは勇気がいるし、3才児健診などの保健センターでやる時に相談もできると言われますが、周りの目がありませんかできない。  
来て頂けたら安心して話せる気がします。

#### 【保育について】

- ・助けてくれる親族が夫以外にいないので、保育園の開所時間がもう少し広がると良いなと思います。（現在7：15－19：15）
- ・日曜保育を利用しやすくしてほしい（少し高いので気楽に利用できない）。
- ・休日に仕事がある場合に保育園では無理。休日保育の実施施設はほぼなし。シッターさん、ファミサポの利用も難しい現状を相談しても、解決策は仕事をやめるしか出てきません。有料（高額でも可）のサービス提供を行政には期待しています。
- ・働いているので、平日は保育園で預かってもらえますが、土（日）曜に用事がある時にも（有料でも良いので）同じ保育園か近くの保育園で一時預かりしてもらえると助かります。
- ・保育園の0歳児が入りやすいのは良いのですが、1歳、2歳からでも入りやすい環境が欲しいです。

#### 【その他】

- ・健康面について、体験談や経験談を教授してもらうことや、病院（夜間、休日）対応の連絡や情報が欲しい。

- 任意の予防接種も全て無償化してほしい。
- 予防接種の計画的な受け方、フローみたいなものを資料でほしい。年齢（〇か月など）と時期（インフルエンザなど）をまぜて教えてもらえると抜けもれがなくて助かる。
- 双子がいるので、双子の子育てについて双子の親同士が悩みを共有できる場所があれば良いと思う。双子親の先輩から話を聞ける場所もあったら良いと思う。
- 密な関わりも必要ですが、あいさつ程度の日頃の声かけのようなサポートも必要なのかなと感じます。保育所に通う前は孤立感が強く、常に見守られていると感じられると子育てがいくらか楽に（精神的に）なると思います。

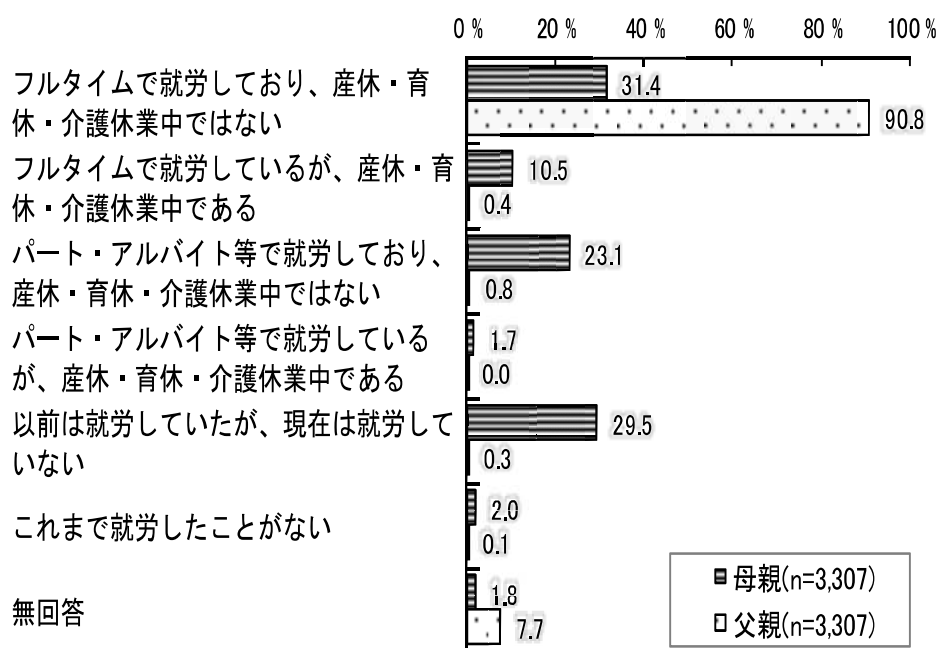
#### 4. 保護者のはたらき方について

##### (1) 就労状況

問15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
（1つに〇）

母親は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く31.4%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が29.5%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.1%となっています。

父親は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多く90.8%、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.4%となっています。



【母親：年齢別、居住地域別、経年比較】

年齢別にみると、0歳は「以前は就労していたが、現在は就労していない」、1歳～5歳は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、東部地域、南部地域、北部地域は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、西部地域は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も多くなっています。

前回調査と比べて、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が多くなっています。

回答者数		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
今回	3,307	31.4	10.5	23.1	1.7	29.5	2.0	1.8	
年齢	0歳	549	22.0	29.1	12.6	3.1	30.6	0.9	1.6
	1歳	532	36.1	10.9	17.7	2.1	29.7	2.1	1.5
	2歳	558	32.8	9.3	21.7	2.0	31.0	1.4	1.8
	3歳	548	33.0	6.8	27.0	0.5	28.6	2.2	1.8
	4歳	564	32.4	3.2	28.9	1.2	30.1	1.8	2.3
	5歳	499	31.5	4.2	30.5	1.2	27.7	3.6	1.4
地域	東部地域	702	32.1	12.4	21.5	1.0	29.6	2.0	1.4
	西部地域	1,118	29.2	9.8	24.7	2.0	30.6	1.9	1.9
	南部地域	855	35.7	10.8	19.6	1.5	28.5	1.8	2.1
	北部地域	608	28.9	9.4	27.0	2.0	28.6	2.5	1.6
前回(H25)	3,618	25.0	5.4	24.3	0.9	38.9	3.9	1.5	

- 表中の年齢ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。
- 表中の地域ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。



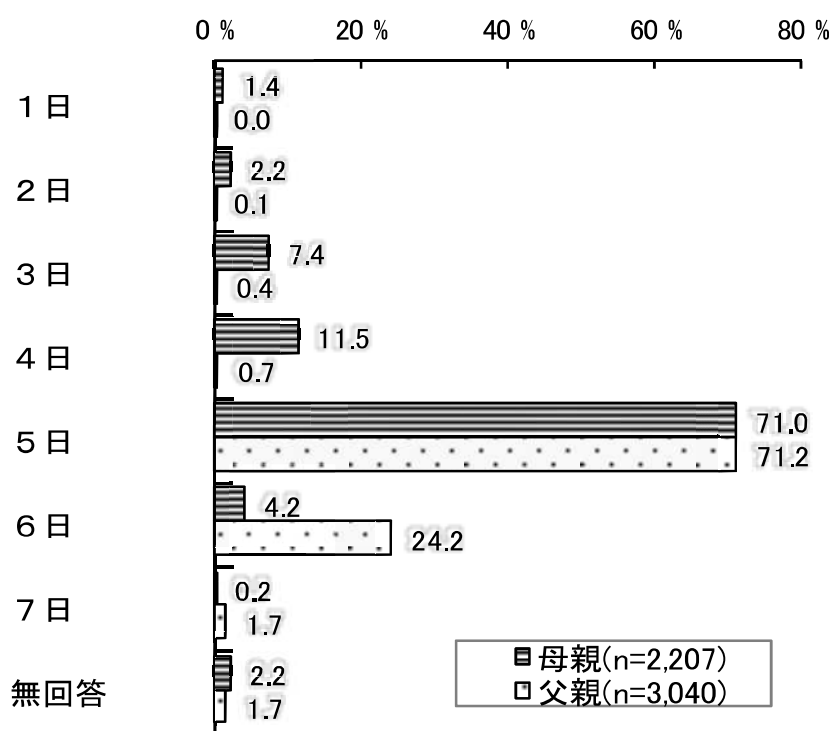
(2) 就労日数・就労時間

◆問 15-1 は、問 15 の「母親」または「父親」で「1」～「4」(就労している)とお答えの方にかがいます

問15-1 週のおおよその就労日数と就労時間、家を出る時間と帰宅時間についてご記入ください。  
 (数字は一桁に一字) 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【1週あたり平均就労日数】

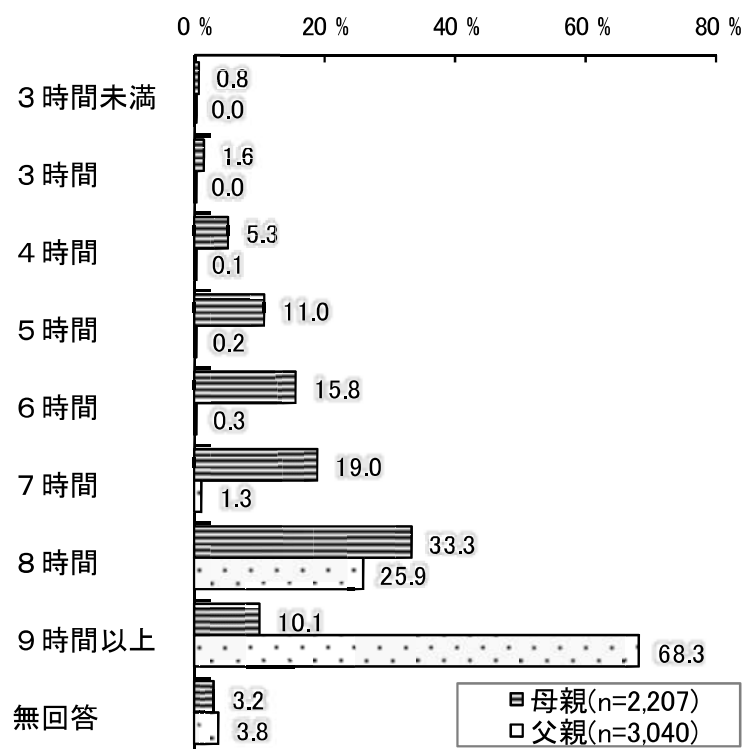
母親は、「5日」が最も多く71.0%、次いで「4日」が11.5%、「3日」が7.4%となっています。  
 父親は、「5日」が最も多く71.2%、次いで「6日」が24.2%、「7日」が1.7%となっています。



### 【1日あたり平均就労時間】

母親は、「8時間」が最も多く33.3%、次いで「7時間」が19.0%、「6時間」が15.8%となっています。

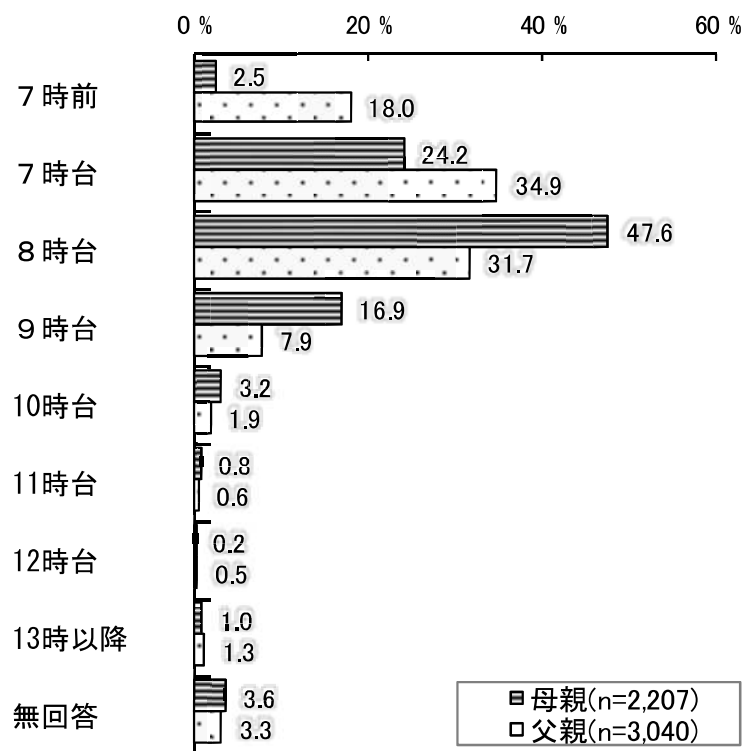
父親は、「9時間以上」が最も多く68.3%、次いで「8時間」が25.9%、「7時間」が1.3%となっています。



### 【家を出る時間】

母親は、「8時台」が最も多く 47.6%、次いで「7時台」が 24.2%、「9時台」が 16.9%となっています。

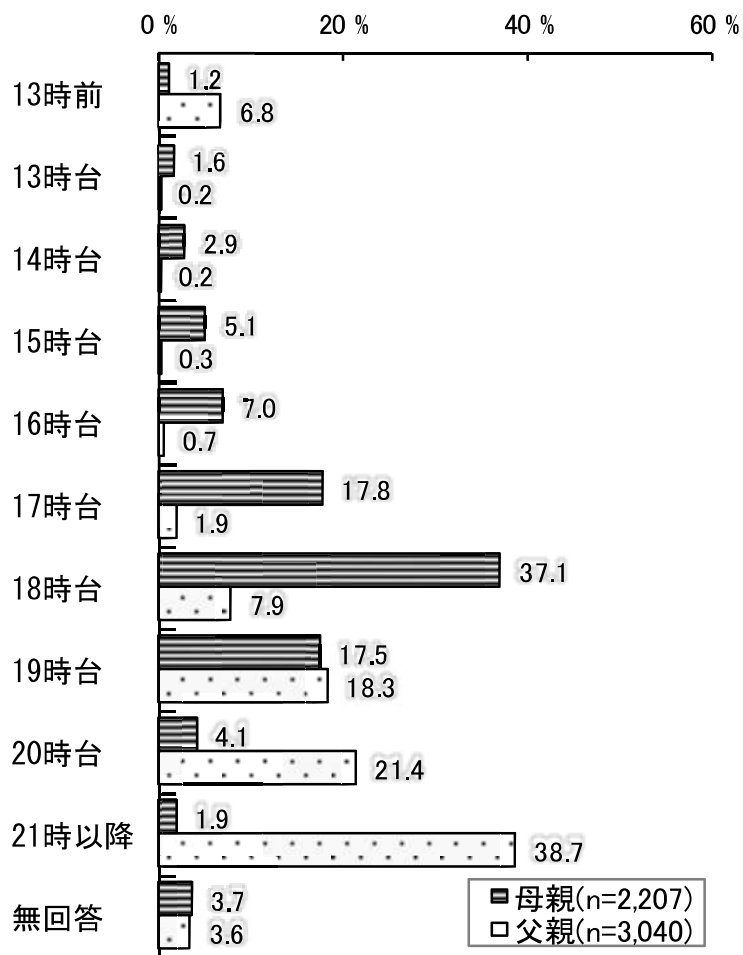
父親は、「7時台」が最も多く 34.9%、次いで「8時台」が 31.7%、「7時前」が 18.0%となっています。



### 【帰宅時間】

母親は、「18時台」が最も多く37.1%、次いで「17時台」が17.8%、「19時台」が17.5%となっています。

父親は、「21時以降」が最も多く38.7%、次いで「20時台」が21.4%、「19時台」が18.3%となっています。



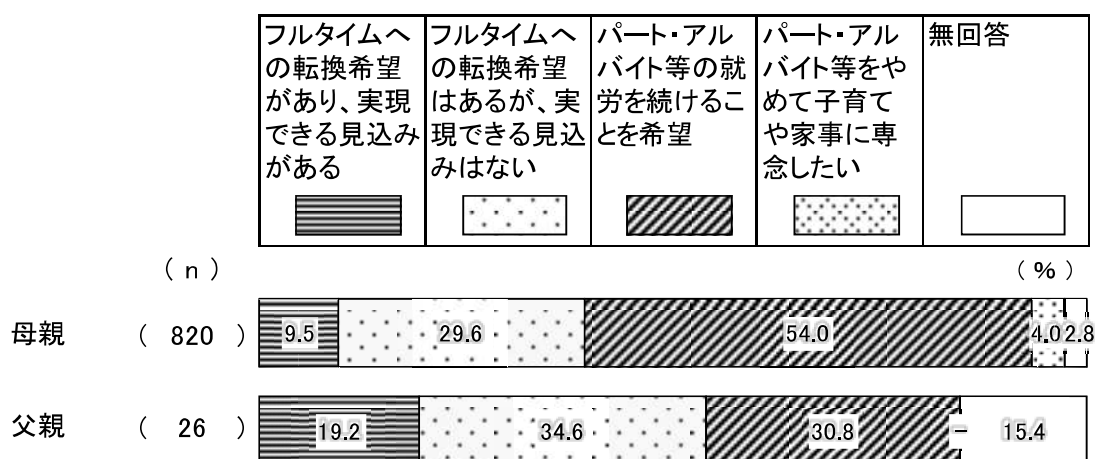
### (3) フルタイムへの転換希望

◆問 15-2 は、問 15 の「母親」または「父親」で、「3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」とお答えの方にうかがいます

問15-2 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多く 54.0%、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 29.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 9.5%となっています。

父親は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が最も多く 34.6%、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 30.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 19.2%となっています。



#### 【母親：年齢別】

年齢別にみると、すべての年齢で「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多くなっています。

	回答者数	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答	
全体	820	9.5	29.6	54.0	4.0	2.8	
年齢	0歳	86	14.0	32.6	43.0	8.1	2.3
	1歳	105	12.4	22.9	59.0	2.9	2.9
	2歳	132	9.1	38.6	48.5	3.8	—
	3歳	151	9.9	24.5	59.6	3.3	2.6
	4歳	170	8.2	37.1	47.6	5.3	1.8
	5歳	158	7.6	23.4	60.8	2.5	5.7

○ 表中の年齢ごとの回答者数には、無回答者数が含まれていないため、その合計と全体の回答者数とは一致しません。

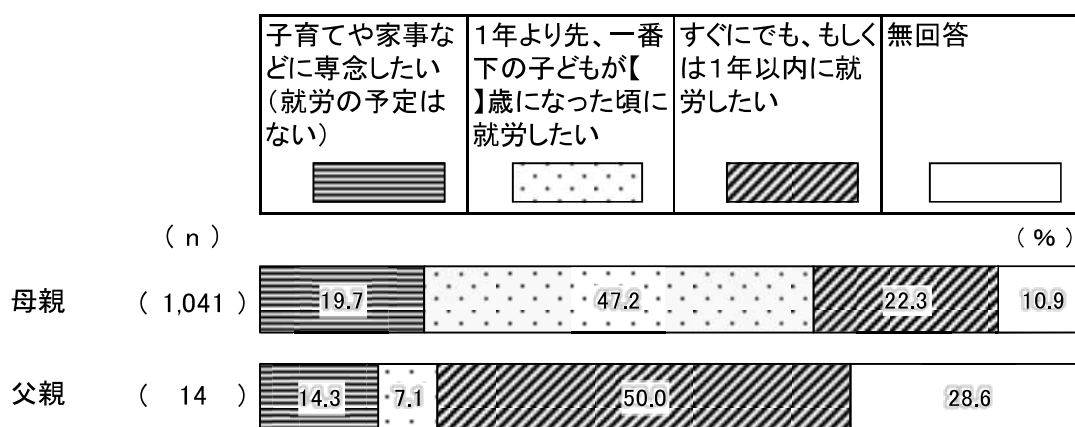
#### (4) 就労希望

◆問 15-3 は、問 15 の「母親」または「父親」で、「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」とお答えの方にうかがいます

問15-3 就労したいという希望はありますか。

母親は、「1年より先、一番下の子どもが【 】歳になった頃に就労したい」が最も多く 47.2%、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 22.3%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 19.7%となっています。

父親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く 50.0%、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 14.3%、「1年より先、一番下の子どもが【 】歳になった頃に就労したい」が 7.1%となっています。



#### 【一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか】

※「1年より先、または一番下の子どもが【 】歳になった頃に就労したい」に○をつけた方にうかがいました。

母親は、「7歳」が最も多く 23.0%、次いで「3歳」が 22.8%、「4歳」が 19.1%となっています。

父親は、「8歳」が1件となっています。

